

本日はインターネット市民社会について京都で開催されたインターネットガバナンスフォーラムのことを踏まえ、お話をさせていただきます。

0. 自己紹介

- 関心
 - メディアスタディーズ、ジャーナリズムを学びITを応用して市民が情報発信の担い手になっていくことに関心
 - 個人が多様な知識にアクセスし、吟味し、よりバランスのとれた理解がすすむとよい ⇒ 市民メディア、シビックメディア (i.e. Globalvoices.org)
 - テクノロジーと表現の自由、プライバシーなどについて英字記事を執筆してきた (2011-14)
- IGF京都
 - ネットワーキング目的のサイドイベント
 - パンフレットで国内CSOの紹介
 - 若者をフィーチャーしたイベントの開催
- メインメッセージ
 - 前代未聞だからと思考停止するのをやめよう
 - テックコミュニティの住人であっても、市民の属性は消えない

インターネットガバナンスをめぐる、なぜ市民社会の役割が期待されるのか

- 国際政治のプレーヤー
 - 国民国家 ↘ : 国民に主権。投票による代議制
 - 多国籍企業 ↗
 - (NEW!) NGO・NPO ←これがcivil society(市民社会) organization
- 市民社会とは？
 - 国家、企業に対するNGO、NPO
 - 集団行動(Collective action)の主体
 - 何らかのコミュニティをレペゼンする(例:先住民、女性、青少年、LGBTQなど)
 - 団体の利益ではなく、コミュニティの利益のために働く
 - 法人格は問わない(○○ネット、○○の会のような市民団体も)
 - アカウンタビリティを追究する特徴がある(多国間交渉においてはウォッチドッグとしての機能を果たすことが期待される)
 - エンパワーメントプロジェクトである
- インターネットガバナンス以前(以外)の多国間交渉のモデルと市民社会
 - 「クローズドア」のハイレベル会議
 - WTO: ナイキ vs HRW (c.f. Via Campesina)
 - COP20: ネスレ vs FoE, 360.org
 - 入れない、意見は聞き入れられない ⇒ 反対運動 ↔ ”be civil!”

- インターネット以前のマスコミ中心の情報空間
 - メディアコングロマリット: 巨大メディアによる寡占状態
 - FOX, CNN vs DemocracyNow!, indymedia
 - Clear Channel vs Pacifica, KQED(c.f. パブリックアクセスチャンネル)
 - 集中排除原則とかFCC、フェアネスドクトリンの話したいけどズレるのでやめておく♡
 - 戦争報道
 - 消費文化
 - 「ゲートキーパーだ！」(c.f. 欧州DMA)

- インターネットガバナンスにおけるCSO
 - 主要なプレーヤー(Aからはじまる)
 - AccessNow (RightsConの主催)
 - Association of Progressive Communication
 - Amnesty International

※ここに挙げているのはAから始まる人権系に偏っていますが、気候変動や女性、青少年保護などいろんな国際NGOがIGFには来ます
 - CSOはどのような財政基盤をもっているのか？
 - 慈善団体がバックにいる(Open Society Foundation, ゲイツ財団など)
 - 企業もスポンサーになる
 - どんな人材が働いているのか
 - 国際関係+人道支援+IT+法+多言語
 - IGFに参加するCSOの特徴
 - 本籍地は偏ってる
 - ベルギー(EU関連)
 - イギリス
 - アメリカ
 - オランダ
 - ドイツ
 - ブラジル
 - インド
 - 参加目的
 - ナレッジ・キャパシティビルディング
 - アドボカシー、意識啓蒙、社会課題の解決
 - エンドユーザを代表するために 🤔 日本からの参加者の目的はどうだったでしょうか？
 - CSOのロビー活動
 - 主にはいわゆるアウトサイドロビー
 - △インサイドロビー: 役所や会館、委員、調査事業

◎アウトサイドロビー:メディア戦略を通じた世論への働きかけ(情報活動、署名等への動員、不買運動やストライキ、デモなどの抗議)

- 具体例でイメージしてみよう～けっこう強い市民社会の例
 - 米国: The Markup (データジャーナリズムに特化した調査報道機関)
 - グローバル: GlobalVoicesのCivic Media Observatory
 - プラットフォームの至らなさを暴く
- 日本の市民社会は？
 - 見つけよう
 - 視座が違うから表出しづらい(テック→権利か、権利→テックか)
 - やっぱり平和だから？
- 2023年の国際社会における日本
 - [ジェンダーギャップ](#) 世界125位/146
 - [報道の自由ランキング](#) 世界68位/180
 - [ネットの自由スコア](#) 77点/100点
 - うち ユーザ権利の侵害 26点/40点
 - [2013年は22点/100](#)
- ポストデジタル時代の権利擁護は誰が担うか？
 - 市民(ユーザ)か、テクノロジーコミュニティか、国家か
 - ICTプロフェッショナルの倫理
 - ACM、IEEEの倫理綱領改定
「コンピューティングのプロフェッショナルの行為は世界を変化させる。そのため、責任をもって行動するには、一貫して公共の福祉を向上させることを念頭に置きつつ、自分たちの仕事より広範囲にわたる影響力について常に注意を払わなければいけない」
 - 欧州スキル標準を扱ってきたICT Professionalism EuropeによるCode of Ethicsの追加
 - CPSR(2013に分解)が思い出される...
 - なぜポストデジタルで権利擁護を考えなければならないのか
 - あいまいなアカウントビリティの所在(メニーハンズ)
 - 「サイバー委譲」"Cyberdelegation" が起きる: 政府および公共機関が、技術的専門知識不足のため、ガバナンスを目的としたデータの収集または分析のタスクを民間のテクノロジー組織に外部委託するプロセス。例えば 福祉の割り当て、医療サービス、犯罪の検出と予測、国家安全保障、防衛、教育など
 - 前代未聞であることが常態化する "normalized unprecedentedness" (Atwater, 2021)
わからない→無力化

- 豊かな市民社会を目指して
 - 幻想は止めよう
 - Q:今年なんかのボランティア活動をした人？
 - Q:今年の有休はもう半分以上消化したひと？
 - 消費者団体が強かった頃は共働きではないぞよ。
 - ~~ミッションのためにボランティアで行うことで人助けになる~~
 - 貢献するためには知識(スキル)が必要
 - 公の場での市民の対話に参加しづらい層がいる(学歴が低い)→言葉以外の表現も！
 - 国際CSOは高給取り。勾留、裁判沙汰多数
 - 来年のIGFに向けて、知識+自分の考えを
 - 2024年IGFの開催国は？
 - インターネット遮断 ([参考](#))
- ではどうするのか今後~教育とシビック
 - キャパシティブルディング:インターネットガバナンスの諸問題について学べるオープンコースウェアの作成
 - 映画や音楽、カルチャーを通じた啓蒙活動
 - 幻想ではなく、現実を踏まえ[Equality vs Equity](#)